

平成23年10月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

保科正之公生誕400年

副会長 岩井隆興

埼玉県立歴史と民俗の博物館は、この大宮公園の県文化会館の跡地に埼玉百年記念事業の一つとして建設され、本県初の人文系総合博物館として昭和46年11月開館、今年で40年を迎えるとのこと、誠にご同慶に存じます。その間歴代館長さんを始め職員の皆様の並々ならぬご苦労とご努力があったことと思います。今後益々のご発展を祈念いたします。

さて、NHKの大河ドラマ「江 姫たちの戦国」では、江の方が徳川家に嫁ぎ秀忠の正室となったところですが、この江の方は嫉妬心が強く、当然秀忠は側室を置くことはなかったが、乳母であった「大姥」の侍女静を見初め寵愛した。やがて静は懐妊、江の方を恐れ宿下がりしたが、身の安全が保たれず不安な状態であり、これを哀れと思われたか武田信玄の娘である見性院が庇護し領地である浦和の大牧に匿われていた。慶長16年2月静は大宮の氷川神社に参拝し安産祈願をしている。その時の祈願状が我が家に伝わっている。

うやまつて申祈願の事（読み下し文）

南無氷川大明神 当国の鎮守として跡を此国に垂れ給ひ 衆生普く助け給ひ ここにそれがしいやしき身として太守の御思ひものとなり 御胤を宿して当四五月の頃臨月たり しかれども御台嫉妬の御心深く堂中に居ることを得ず 今信松禪尼のいたわりによつて身をこのほりに忍ぶ それがしまつたくいやしき身にして ありがたき御寵愛を蒙る 神罰としてかかる御胤をみごもりながら住所にさまよふ 神明まことあらば それがし胎内の御胤御男子にして 安産守護し給ひ 二人とも生をまつとふし 御運を開く事得 大願成就なさしめ給はば 心願の事 必ずたがひ奉るまじく候なり

慶長十六年二月

志津

その年5月7日めでたく男子を出生、幸松、後の会津藩祖保科正之公である。この文書が世に知られるようになったのは、昭和10年1月埼玉県史編纂のため編纂委員の稲村坦元氏が我が家に調査に来られたときからである。稲村氏はこれで保科正之公が大牧で出生したことが実証されたとして、新聞にも「赤誠の祈願文に溢るゝ母性愛 会津藩祖は大牧出身」と報じられた。この時の県知事は会津出身の飯沼一省氏、ぜひ知事に見せてほしいと稲村氏に頼まれ、知事に手紙を差し上げたところ、大変貴重な文書なので郷里の同好の志とともに拝見したい。その節は宜しくと丁寧な返書戴いた。同年5月12日飯沼知事主催の下に旧会津藩主子爵松平保男氏、伯爵山田英夫氏、陸軍中将向角三郎氏を始め会津出身の諸名士23人が参列し、大牧の清泰寺において見性院の追善法要を営み、その後氷川神社に詣で、我が家に立ち寄られこの祈願状を拝観したと聞きおよんでいる。

この祈願状は中村彰彦著「保科正之」、荻塚一三郎著「埼玉の女たち」、会津若松史「会津藩政の始まり」、郷土出版社「会津の歴史」、別冊歴史読本「名君保科正之と会津松平一族」等に掲載されている。そして今年には正之公生誕400年、これを記念して会津若松市にある福島県立博物館では、「保科正之の時代」展が10月8日から11月27日まで開催され、この祈願状も展示されることになっている。興味のある方はぜひこの機会にご覧いただければと思います。

友の会トピックス

1 今後の友の会と博物館のイベントスケジュール

○10月8日(土)～11月27日(日) 博物館開館40周年記念・特別展「円空 こころを刻む」

さすがに記念の特別展！ 県内の円空仏が大結集。 これだけの規模、今度はいつ見られるか、わかりません。

○11月13日(日) 見学会「はにわ祭りと房総風土記の丘」

別ページをご覧ください。

古墳時代の人々の現物？が見られる楽しいお祭りとお堀群、白鳳の道歩き、白鳳仏は見られるかな？

○12月11日(日) 講演会「日本の古代王権と災害～貞観期の災害への対応を中心として～」

講師：専修大学教授 荒木敏夫先生 <お申込みはニュース11月号発行後>

☆博物館のミュージアム・トーク <10月20日(木)・13:30～14:00・物田新・先着30名>

☆「博物館40年の歩み」

☆博物館の特別鑑賞会 <11月9日(木)・13:30～14:00・10月9日から電話受付048-645-8171・先着20名>

☆「土佐光起筆・一の谷合戦図」 近くで、じっくり拝見できます！

☆博物館の民俗工芸実演・春日部の桐細工 <10月16日(日)・13:30～15:30参加(見学)当日受付>

2 友の会のそのあとのイベントスケジュール予定

○1月 見学会「白洲次郎と正子の武相狂」

○2月 見学会「地酒づくりの現場とその周辺」

○2月 恒例・発掘現場見学会

○3月17日(土) 講演会「北武蔵の戦国時代」 講師：埼玉大学名誉教授 田代 晴先生

<お申込みはニュース2月号発行後>

3.お願い

◎会員数増加のために～ ○お友達をお誘いください

○ご加入の会・グループなどで、当会のチラシをお配りください。

紹介チラシをお送りします。ご請求は～ 048-975-9139 宮川

私たち、友の会は3.11を忘れてはいません

花王さん助成の岩槻イベント「日光御成街道・岩槻区内部分・完歩会」の第2日は9月11日（日）、ご参加の皆さまに3月11日から6ヶ月を忘れてはいませんという意味で、募金をつのりました。

そして、先日、募金をお送りした陸前高田古文書研究会の方々へ、お茶とお菓子をお送りさせていただきました。以下は、そのお礼状です。私たちは3.11を決して忘れてはいません。忘れてはいけません。

平成23年9月27日

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会
会長 宮川 進 様

陸前高田古文書研究会
事務局 佐藤 美智子

朝夕めっきり涼しくなりましたね。震災以後日々のはしさに振り回され、山手の方に住んでいながら、周囲の季節の移ろいにも気が付かずに過ごしている現状です。

此度は、大変うれしいお心遣いをいただき本当に有難うございます。早速24日（土）の解説会の休憩時間にお茶とお菓子を皆で頂きました。とても美味しかったです。会長始め、皆さまに宜しくお伝え下さいとのことでした。

あの恐ろしい大震災から半年が過ぎ、報道も薄れていく中で、私共を忘れずにいて下さった事に只々感謝も申上ます。

研究会の事務局は、あいも変わらず自宅になってますが、会の活動は僅かに被災を逃れた「竹駒町コミニティーセンター」という場所で、月4回のペースで吉田家文書の勉強と解説の作業を、6月初旬からまた再開しました。これから何年掛かるか先が見えませんが、前進のみと思っています。

貴会の皆さまを始め、色々な方面からの励ましのお言葉をいただき、それを力にこの仕事をこれからも続けていきたいと思っています。

一日々寒さが厳しくなっています。どうぞ貴会員の方々もお体を大切にお過ごしください。本当に何時の日にかお逢いできればいいですね。会員の勉強会の風景を写した写真を同封します。 早々



はにわ祭り と 房総風土記の丘

殿塚と姫塚という二つの古墳を舞台にして行なわれるページェント。あなたの目の前に古墳時代のヒトがいます。息吹きが聞こえます。

当地は埴輪がいっぱい出土するところ。埴輪でも古代人の豊かな表情をご覧ください。

そのあとは、関東の風土記の丘めぐりの最終回、房総風土記の丘へ。秋風は古墳群をめぐり、あなたを白鳳の道へ導きます。

実施日 平成23年11月13日(日)

集合 午前7時30分（古墳時代の埴輪が出土するところ）

JR大宮駅西口・ソニックビル西側

参加費 6,000円(バス代・昼食代など)

コース 大宮＝<東関東自動車道>＝富里IC＝横芝光町・

殿塚・姫塚＝芝山町・芝山古墳はにわ博物館・芝山ミュージ

アム＝栄町・房総風土記の丘・龍角寺古墳群・岩屋古墳・浅

間山古墳・龍角寺＝成田IC＝<東関東自動車道>＝大宮

ご参加のお申込みは、ハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号・参加イベント名を明記し、

11月7日(月)までに、〒343-0041 越谷市千間台西2-17-16 宮川へ。会員限定ですが、

ご家族、お友達もご参加可。同じバスご希望の方は連名で。集合場所地図ご希望の場合は、

その旨、ハガキにご記入を。お問合わせ、開祭、当日の緊急電話 090-4139-2740 宮川

平成23年11月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

— 開 館 4 0 周 年 の 秋 に —

館 長 矢 部 保 雄

この11月に40周年を迎えました。友の会の皆様の御支援に感謝申し上げます。

度・量・衡の世界というと、何を思い浮かべるであろう。長さ、重さ、面積、体積。

昔を思い出してみよう。昭和30年半ば農家戸数が多かった頃、我が家は専業農家であった。その当時の田植えを今でも思い出すが、区画は1反、2反という面積である。

小学校ではメートルが印象に残る。50メートル競走、ソフトボール投げ・・・長さである。

日本は世界の地震の約1割が発生する。明治以降、我が国で死者と負傷者の合計が100人以上出ている地震は28回である。津波が被害を大きくしているケースも少なくない。平成23年3月11日の東日本大震災は甚大な被害をもたらした。

震度は地震による、ある一定の場所での揺れの強さをあらわし、マグニチュードは地震そのものの大きさをあらわす。震度4は「かなりの恐怖感。一部の人は身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目覚ます」。という人間の感じ方である。

これまで聞き慣れない言葉で急に身近になったものがある。マイクロシーベルト、ミリシーベルトである。福島第1原発の影響は続く・・・

さて、福島県は平成24年度に大型観光キャンペーンを展開する予定をたてていた。「旅すればふるさと ほっとふくしま」ということで、浜通り、中通り、会津地方と全国第3位の県土を有し、人口は203万人である。浜通りの中村城は相馬藩6万石である。石は体積の単位である。ところで当館の来年春の特別展は「大名と藩」である。

福島県は新日本酒王国であり、平成21酒造年度全国新酒鑑評会では金賞受賞数日本一、お酒は1升2升、楽しい体積の世界である。

楽しい話をもう一つ、温泉が多いということ。東山温泉、岳温泉、中の沢温泉、芦ノ牧温泉、高湯温泉、飯坂温泉、いわき湯本温泉ちょっと思い出ただけでも私が訪ねた温泉が福島県のあちらこちらにある。温泉といえば、ペーハーで酸性・アルカリ性に分かれる。ペーハー値が大きいアルカリ性は肌の角質を溶かすのでツルツルする感じである。いわゆる美人の湯である。一方、酸性になると殺菌力があり肌がピリピリする。

二本松市には国指定史跡「戒石銘」が存在する。「爾の俸 爾の禄は 民の膏 民の脂なり。下民は虐げ易きも 上天は欺き難し」自然石（花崗岩）の大石に刻まれている。

9世紀の貞観年間に東北地方を中心に起きた地震と津波・・・その貞観時代に新たな芸能の動きがうまれてきたという。食の文化や仏像も大きく変わったきっかけとなったという。

3月からはやくも8ヶ月がすぎた。このたびの東日本大震災を文化芸術の新たな時代へのスタートとしなければならない。

平成の世に新機軸が生まれたと思われるように、私たちは創造の扉を開かなければならない。

折しも、埼玉県立歴史と民俗の博物館は、前身の県立博物館時代を含めると今年11月で開館40周年を迎えた。新たな飛躍のスタートの年としたい。

◎埼玉県立歴史と民俗の博物館 開館40周年 おめでとうございます！

40年にわたり、私たちを楽しませ、勉強させてくれたことに、お礼を申し上げます。これからも、友の会は博物館を支援し、協力させていただくつもりです。

会員の皆さま、博物館の応援に、チカラをあわせて頑張りましょう！

具体的には ①博物館の来館者数を増やすために、「いま博物館では、こんなことをやってるよ」ということをお友達の輪のなかで話すこと ②博物館の催しのチラシを持ち歩いて、知人の中で配ること ③自分自身の年間リピート回数をふやすこと ~そのためには、博物館の展示の中で、個人的にイチバン好きなポイント~行くときには、いつも顔を出すところ~を探し、決めておくのがいいかも知れませんね。

◎このたび、法政大学キャリアデザイン学部の金山喜昭先生から、研究の資料として、当会会員を対象としたアンケートへの協力を依頼されました。対象としてお選びいただいたことを誇りしたいと思います。11月末日までのご返送をよろしくお願いいたします。

◎博物館40周年記念の特別展「円空 ころろを刻む」は11月27日（日）までです。まだの方はその日までに。ごらんの方も、もう一度。ぜひ、あなたの心の花を円空さんにおささげください。

◎12月は月2回の講演会開催です。いろいろあった、この一年の最後を知的に満足して締めましょう！

◎今後の博物館と友の会のイベントスケジュール

○博物館・円空展・展示解説 11月14日（月・県民の日）、27日（日） いずれも1時半から。申込み不要

○友の会のイベント 12月3日（土）講演会「博物館友の会はいかにあるべきか？」

12月11日（日）講演会「日本の古代王権と災害」

1月（日程未定）見学会「白洲次郎と正子の武相在、日本民家園など」

2月（"）見学会「地酒づくりの現場とその周辺」

2月（"）見学会「発掘現場見学会」

3月17日（土）講演会「北武蔵の戦国時代」

講師：埼玉大学名誉教授 田代 脩先生

○博物館・「博物館でお正月」 1月2日～9日（月・祝）

博物館友の会はいかにあるべきか？

講師 塚原正彦先生（常磐大学大学院准教授）

＝「ミュージアム集客・経営戦略」などの著者＝

日時 平成23年12月3日（日）午後1時半～

場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

博物館の友の会は今後、いかに進むべきか。友の会が博物館のひとつの組織・分野であれば、会員は「友の会の将来」を考える必要はありません。しかし、私たちの、この友の会は、それを自ら考えてゆかねばならないのです。博物館の経営（ミュージアム・マネジメント）から始まって、博物館を地域起こしの起爆剤とすることまで考えておられる塚原先生から、外国の実例など、私たちの進むべき道へのヒントをいただきましょう。

☆ ご参加無料 ☆

ご参加ご希望の方は、往復ハガキにお名前、ご住所、電話番号、イベント名、会員の方は会員番号を明記し、（裏面にご住所・お名前を記入ください） 11月28日（月）までに、〒330-803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ～

定員150名。越えました場合は先着順とし、その時点で締め切らせていただきます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館
埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

日本の古代王権と災害

～貞観期の災害への対応を中心として～

今年3月11日の東日本大震災に匹敵する大災害が、平安時代・清和天皇の時代に起こった。そのとき、王権はどのように対応したのだろうか？ 1200年後の我々が学ぶべきことはあるのか？ それを教訓として、我々から未来の人たちへ送るメッセージはあるのか？ 震災で亡くなった方々のいのちを無駄にしないためにも、しっかりと、しっかりとお聴きしておきたいものです！

講師 専修大学教授

荒木敏夫先生

とき 平成23年12月11日(日)

午後1時半～3時

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

＝東武野田線・大宮公園駅・下車徒歩5分＝

ご 参 加 無 料

参加お申込みは往復ハガキに①講演会名②ご住所③お名前④お電話番号⑤

友の会会員は会員番号を明記し、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻

町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。定員(150名)を

越えた場合は先着順とし、その時点で締め切らせていただきます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成23年12月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

古墳に埋められている人の名前を教えてください

学習支援担当 学芸主幹 宮 昌之

これは私が県の文化財保護課（現在の生涯学習文化財課）で史跡担当の時に受けた小学生からの質問です。友の会の皆様は、この質問にほとんど答えられないことは御承知のことかと思いますが、「お城に住んでいた人の名前を教えてください」とともに多かった記憶があります。博物館に異動になっても同様な質問を受けたものです。

大人の方からは、「貝塚を見に行きたい」「板碑が立っている場所を巡りたい」など「～したいので場所のリストがほしい」という要望が多く、「図書館などでご自分でお調べになってわからないところを問い合わせてください」と言いたいのをぐっと押さえて、リストを作って送ったものです。市民大学での発表レポートをまとめたので間違っていないか見てほしい」という20ページ以上の原稿が入った手紙が送られてきたこともありました。

このようにさまざまな問い合わせを受けるのですが、返答に窮するものに「万葉遺跡」「万葉歌碑」があります。県内には万葉遺跡が4か所、万葉歌碑が23か所25基ありますが、万葉の故地として確実視される場所は1か所もないことから、「なぜ指定されているのか」「誰が設置したのか」「文字を書いたのはだれか」「なぜここにこの歌なのか」など、多くの方から質問されました。

他県では万葉歌碑を町おこしの材料として使われることもあるようですが、県内ではそのような例はなく、地元文学愛好家の熱い思いや美里町さらし井での歌碑建立にかかわった際には地元の方々の遺跡への並々ならぬ想いを感じたものです。

以下古い順に万葉歌碑の所在場所を示します。

- 1 行田市 前玉神社境内2基（1697年）巻9-1744・巻14-3380（市指定の石灯籠に線刻）、
- 2 行田市 小崎沼脇（1753年）巻9-1744・巻14-3380（県旧跡）、
- 3 美里町 さらし井2基（1845・2000年）巻9-1744・巻9-1745（県旧跡）
- 4 秩父市 下吉田（1805年）巻14-3362・巻20-4414
- 5 岩槻区 尾ヶ崎新田（1835年）巻9-1744
- 6 川越市 氷川神社境内（1883年）巻5-800・巻5-801
- 7 越生町 大谷（1930年）巻14-3378
- 8 美里町 佐大伴真足女遺跡（1951年）巻20-4413
- 9 川越市 万葉遺跡占厩の鹿貝塚（1954年）巻14-3374
- 10 加須市 万葉遺跡古河渡（1960年）巻14-3555
- 11 行田市 防人藤原部等母遺跡（1961年）巻20-4423・巻20-4424
- 12 三郷市 万葉遺跡葛飾早稲産地（1962年）巻14-3386
- 13 坂戸市 万葉遺跡浅羽野（1980年）巻11-2763
- 14 坂戸市 四日市遺（1982年）巻14-3378
- 15 皆野町 水瀧寺境内（1982年）巻14-3525
- 16 狭山市 市役所（1986年）巻14-3378
- 17 越生町 日本カントリークラブ（1987年）巻14-3378
- 18 日高市 大谷沢（1989年）巻14-3378
- 19 蕨市 市民公園（1989年）巻8-1418
- 20 日高市 巾着田内（1990年）巻14-3465
- 21 越谷市 県民健康福祉村内（1992年）巻14-3378
- 22 飯能市 阿須（1996年）巻14-3539
- 23 越生町 町立図書館（1996年）巻14-3378

（個人所有で見学できない碑もあります。場所、揮毫者、設置者お知りになりたい方は宮まで）

会員の皆さまも、お時間がありましたら、お訪ねください。

友の会トピックス1

◎今後の博物館と友の会のイベントスケジュール

〇1月2日(月)～9日(月) 博物館・臨時開館「博物館でお正月」

お正月に博物館が開館。新しい年のはじめの入館は縁起いいですよ。

〇1月14日(土) 博物館ミュージアムトーク「鉄剣銘文が語るもの」

担当・当館学芸主幹 利根川章彦氏

〇1月15日(日) 友の会見学会 「白洲次郎・正子の武相荘、香山園、日本民家園」

〇2月12日(日) =予定= 友の会見学会 「地酒づくりの現場とその周辺」

〇2月18日(土) 博物館ミュージアムトーク「春日部の桐細工」

担当・当館学芸主幹 川上由美子氏

〇2月下旬の平日 =予定= 友の会見学会 「発掘現場見学会」

〇3月10日(土) 博物館ミュージアムトーク「埼玉古墳群について」

担当・当館学芸主幹 田中正夫氏

〇3月17日(土) 歴史講演会 「北武蔵の戦国時代」 埼玉大学名誉教授・田代 橋氏

〇4月30日(月・振) 歴史講演会 「関東における農耕社会の成立」(仮題)

講師 明治大学教授 石川日出志氏

〇5月26日(土) 歴史講演会 「土器・陶磁器から見た日本の中世」(仮題)

講師 当館副館長 浅野晴樹氏

☆友の会の講演会・見学会のご参加お申込みは、このニュースで詳細発表後のみ有効です。

☆博物館ミュージアムトークは毎回30分間・当日受付 先着順 定員30人

◎円空展の成果について

博物館のお話では、入場者数18,425人、図録販売数4,000部。

いずれも、近來にない記録だそうです。会員のあなたも楽習にご努力いただいたことと思います。

お世話になりました。ご苦労さまでした。

◎講演会「友の会はいかにあるべきか」に栃木県博友の会専務理事の永山亨さんがご参加くださいました。

ご遠方をありがとうございました。

◎友の会会員数は11月10日現在、419名！

平成23年は春に休館などがありまして、会員数が伸びませんでした。24年はぜひ、現会員の方には、ご更新いただき、新しい会員の方を迎え、数のうえでも、友の会の発展をはかりたいと思います。

博物館を応援させていただく「友の会」としては、活動面も会員数も停滞はできません。ひたすら、頑張らなくてはなりません。

2回にわたる「花王・コミュニティミュージアム・プログラム」の実行の際に、つくづく感じたのは、人間というものは、「やれない〜と決めてしまえば、やれない。やってみれば、案外やれるものだ」ということ。「友の会」は、若い方もおられますが、全体的には高齢者集団です。そして、高齢者は、ややもすると、「こんなことは出来ない、実現不可能だ」と思ってしまいがちです。長年の経験、技能はあります。ただ、未知のものへの怖れがやっぱりあります。その「怖れ」に挑戦する気持ちさえ持てば、ものことは「案外、できる」のです。その「気持ち」で「友の会」を頑張ろうではありませんか！

「人間は決して老いない。成長し続けるのを止めることによって老いるのだ 作者不詳」

◎具体的に、なにを頑張っていたいただきたいのか？

一つは「会員募集」です。新しい会員さんを増やすのに、一番効き目があるのは「クチコミ」です。

「友の会というものがあって、博物館を応援することにもなるし、毎月1回、ためになる、面白いイベントをやってるよ」「一緒に行きましょうよ」～その一言を頑張っていたいただきたいのです。

お友だちやご親戚と再会のチャンスも作れます。友の会のイベントを、そんなことにお使いいただくためにも、あなたの「周り」へ会員募集の「お声かけ」を、頑張ってください。

もう一つ、一步すすめて、友の会の「サポーター」として、友の会の受付やイベントのお手伝いをしていただくことはできませんか？ 友の会には事務担当も受付担当もおりません。発足以来、約6年間、みんなで分担して、仕事をこなしてきました。その仲間に、あなたも頑張って、加わっていただきたいのです。

◎「会員募集の資料がほしい」「サポーターになってもよい」そんなお申し出を、ぜひ、友の会受付へ、あるいはおハガキで。友の会へのご連絡をお待ちしております。

12月のご入会費は3月までの会費1000円。1〜3月のご入会費は次年度のご入会費扱い。3月までの会費無料。

白洲次郎・正子の

武相荘。香山園。

日本民家園

戦後の混乱期に、日本人の誇りを生きた白洲次郎と趣味人・正子の夫婦が暮らした武相荘（ぶあいそう）、遠く、天竺の摩訶陀国に起源をもつ神倉家が北条氏のもとに名主として建てた居館・庭園、香山園（かごやまえん）、そして川崎市向ヶ丘遊園に20棟を超える各様式の民家が展開する日本民家園をまわる、ちょっと趣き深いツアーです。

実施日 平成24年1月15日（日）

集合 午前7時30分・JR大宮駅西口・ソニックビル西側

参加費 6,500円（バス・昼食・入場料など）

お申込みは、ハガキ（往復ハガキ不可）に住所・氏名・電話番号・会員番号・

参加イベント名を明記し、1月7日（土）までに〒343-0041 越谷市千間台西

2-17-16 宮川へ。会員限定ですが、ご家族・お友達も参加可。同じバス、

隣席などをご希望の場合は連名で。集合場所地図ご希望の場合は、ハガキにお

書きください。お問い合わせ、問際・当日の緊急電話 090-4139-2740 宮川

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成24年1月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

博物館のもう二つの役割

会長 宮川 進

あけましておめでとうございます。お餅、いくつ食べましたか？ お正月の間に、何か新しいことをされましたか？ 新しいことをする気持ちがなくなるときから、年を取るのですよ。もう、年を取っている？ 困ったな！ では、その「年」を若返らせるために、何か、新しいことをしてくださいね。

新しいこと。たまには「博物館の役割」についてお考えいただくというのはどうでしょうか？ ね。

何か、昔のものを展示する役割？ そうですね、フランスの法律による「博物館」の定義も「文化、科学的性質をもったモノ、コレクションを保存し、研究、教育、レクレーションという目的のもとに展示する恒常的な組織である」となっているようです。（『博物館の自己点検—ドイツとフランスにおける評価の動向から—』ナタリー・ノイマン、川崎・ペルトラン餃子著より） たしかに「保存」「展示」は博物館の大きな役割ですよ。

でも、きっと博物館の応援団である「友の会の会員」の皆さまは、このほかにいろいろと付け加えられることがあったかと思います。わたし個人としては、次の二つを付け加えたいと思います。

ひとつは、博物館の寄って立つ地域の文化の「指標」としての役割です。その地域の文化度を示す役割です。レベルの高い地域の人々は、レベルの高い博物館を造ります。レベルの低い地域では、それなりに… 博物館がないとか、あっても十分に維持されていない…とかでは、自らの恥を、他に示しているのです。

もうひとつは「観光資源」としての役割です。「観光」とは、その地を「訪れて何かを得てくる」ものです。インターネットによる「観光」はありえません。そして、観光に行っても博物館を訪ねないことはないのです。観光に来られた方々に、その地を紹介し、理解していただく、そのためには博物館は欠かせないし、ゼッタイ必要なのです。

この二つの役割を考えていただければ、某大阪市の市長さんのように、博物館は統合するためにあるもの…ということにはならないと思います。しかし、博物館の方も地域文化について、もっともっと発信していただかねばなりませんし、観光協会にも加入していただかねばなりませんよね。

◎今後の友の会と博物館の主なイベントスケジュール

- 1月14日(土) 博物館ミュージアムトーク「鉄剣銘文が語るもの」
担当・当館学芸主幹 利根川章彦氏
- 1月15日(日) 友の会見学会 「白洲次郎・正子の武相荘。香山園。日本民家園」 締切済
- 2月17日(金) 友の会見学会 「冬楽会」 日本酒造りの現場・忠七めしなど 別ページ参照
- 2月18日(土) 博物館ミュージアムトーク「春日部の桐細工」
担当・当館学芸主幹 川上由美子氏
- 2月27日(月) 友の会見学会 「遺跡発掘見学会」 別ページ参照
- 3月10日(土) 博物館ミュージアムトーク「埼玉古墳群について」
担当・当館学芸主幹 田中正夫氏
- 3月17日(土) 友の会講演会 「北武蔵の戦国時代」 講師・埼玉大学名誉教授 田代 脩氏
- 3月20日(火・祝) 博物館特別展 「大名と藩」～県内・忍、川越、岩槻は「老中の城」であった
～5月6日(日)
- 4月30日(月・祝) 友の会講演会 「関東における農耕社会の成立」(仮)
講師・明治大学教授 石川日出志氏
- 5月26日(土) 友の会講演会 「土器・陶磁器からみた日本の中世」(仮)
講師・当館副館長 浅野晴樹氏

※友の会の講演会・見学会のご参加お申込みは、このニュースで「詳細発表後のみ」有効です。

※博物館ミュージアムトークは毎回30分間・当日受付・先着順・定員30人

◎友の会の会員資格、ご更新のほど、よろしくお願い申し上げます

このニュースに「振替用紙」を同封させていただきました。4月以降の年度につきまして、ご更新くださいますようお願いいたします。来年度も熱烈に「博物館を応援」いたしましょう！

なお、博物館における受付は土・日・祭に行なっております。こちらでのご更新も可能です。よろしく！

◎あなたもぜひ、余暇時間を「友の会」のためにお割きください。お手伝いのお申し出も、上記の友の会の受付へ、お声かけください。

冬 楽 会

さむい、さむい…と言っていないで、冬は冬でないと味わえない
ものを楽しむのも一興ではありませんか。お酒づくりの現場、白鳥の
飛来地～ その他、畠山重忠の遺跡など、この機会でないとは行く
のがムツカシイ史跡が盛りだくさんのコースです。

実施日 平成 24 年 2 月 17 日(金)

集 合 午前 8 時・JR 大宮駅西口 ソニックビル西側

午前 9 時半・熊谷駅南口 ロータリー

コース 大宮＝熊谷＝畠山重忠館跡＝荒川・白鳥飛来地＝鹿島古墳群＝
立正大学博物館＝大沼公園（日本最古の板碑所在地）＝昼食（小川町の
割烹旅館・双葉で名代の「忠七めし」をご賞味）＝松岡酒造（帝松）で
お酒造り見学＝穴八幡古墳（末期の方墳）＝嵐山史跡の博物館（『鎌倉街
道』をゆく～ひと、モノ、文化』を見学）＝埼玉県埋蔵文化財センター
＝鴻巣駅＝大宮 <帰着予定 6:30 行き先変更をすることもあります>

参加費 6,500 円(バス代・昼食代など)

◎ご参加のお申込みは、ハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号・参加イベント名・集合は大宮か
熊谷かを明記し、2月7日（月）までに、〒331-0805 さいたま市北区盆栽町 378-2-702 滝沢由美子へ。
同じバス、近くの座席をご希望の場合は連名で。ご家族・お友達のご参加可。集合場所の地図ご希望
の場合は、その旨ご記入ください。 ◎お問合わせ、間際、当日の緊急電話 090-4139-2740 宮川

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

早春の古代遺跡ウォーク

毎年、ご期待いただいております、遺跡発掘現場見学会。いつもは3月ですが、年度末は発掘現場が店じまいとなる時でもあるので、一ヶ月早め、2月の開催といたしました。古代ロマンに浸ることのできる機会をお活かしてください。今年も春日部市（旧庄和町）の浅間下遺跡です。縄文時代・古墳時代の遺跡です。

◎日 時 平成24年2月27日（月） 雨天中止

午前10時～12時 お弁当のご持参は原則不要です

◎集 合 午前9時15分・春日部駅（東武・野田線、伊勢崎線）東口

◎コース 春日部駅～（朝日バス・約25分）～
大風会館入口～浅間下遺跡 <見学>

◎費 用 無料（バス代片道440円です）

◎ご説明 埋蔵文化財調査事業団職員

○参加お申込み ハガキに住所・氏名・電話番号・イベント名を記入し、
2月22日（水）までに〒330-0803 さいたま市大宮
区高鼻町2-212 岩井隆興へ。会員限定ですが、
ご家族・お友達のご参加可。ご返事はいたしません。お
申込みの方はご参加いただけます。

緊急・当日のご連絡は 090-7170-3294 岩井

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成24年2月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

1976年、深谷市北坂遺跡の発掘調査

主席学芸主幹 中島 宏

1976（昭和51）年、関越自動車道の建設に先立つ深谷市（旧岡部町）北坂遺跡の発掘調査を担当した。遺跡は関越自動車道上り線寄居パーキングにあたる。この調査で薄手の赤茶色の縄文土器片が出土した。ジグザクの山形文様がタテ、ヨコにくっきりとつけられている。私がはじめて手にした縄文時代早期「押型文土器」であった。赤鉛筆ぐらいの太さの軸に山形を彫刻し、これを土器面に回転してつけた文様だ。縄文土器のなかではやや特殊な文様なので、数多くの縄文土器型式のなかでもわかりやすく、小さな破片でも簡単に型式認定できる。



北坂遺跡出土土器(S-1/1)

その後、報告書をまとめるにあたり、この種の土器を調べた。関東在地の土器ではなく、中部地方が本場で、東北～中国地方まで広く分布している。関東に波及した時、対比される在地の土器型式はなにか、押型文土器自体の型式変遷は？などが課題となった。わかりやすい、簡単な土器型式と思ったが奥が深かった。課題が次々と派生、膨張し、以来35年、押型文土器とその周辺を考え続けている。

縄文土器のあちこちをつついてなにが分かるのか、という意見がいまも根強くある。土器の型式学的検討は、各地の資料の同時性や前後関係（編年）を明らかにし、縄文時代の目盛りを細かく、正確にするという大きな役割がある。私の尊敬する考古学者、佐原真さんは、かつていつまで土器の編年をやるのかという問いに対し、「考古学が続くかぎり」と答えた。

北坂遺跡は、「埼玉県遺跡地名表」（県教委 S50）によると「古墳」となっており、現地踏査でも地表面に低墳丘の古墳を思わせる小さなたかまりが観察された。このため調査は2mグリッドを組んで手掘りで慎重に進めた。広い調査地を2m方眼に区切るには膨大な量の杭が必要となる。隣接地のゴルフ場の雑木林に目をつけた。地元の作業員さん達も、細い雑木は伐採しても地主から感謝されることはあっても、叱られることはないと言い、連日、伐採して雑木杭をつくり続け、順次グリッド網を広げていった。ある日、ゴルフ場の監視員に伐採現場を見つかってしまい、山積みとなっている多量の杭を前に「ほんの数本ばかり……」と言い訳ができず、ゴルフ場事務所に来るよう言い渡されてしまった。後日、上司の水村孝行さんと出頭して謝罪し、ことなきを得た。

○友の会・会員ご継続ありがとうございます

3月の更新時期を前にして、ご継続のお手続きをいただいています。あつくお礼を申し上げます。

新しい会員証は、このニュースの発送の際に、同封してお送りさせていただいております。ご送金の時期によりましては、貯金局での処理時間、当会で毎日処理してできていないことなどの理由で、約1ヶ月遅れでお受取りいただくようなことになってしまいます。お許しのほど、お願い申し上げます。

ご送金の額にの郵便局の受取書を、新会員証到着まで、ご保存いただきますよう、お願い申し上げます。

○ご更新がまだの方、ぜひ、よろしくお願い申し上げます

会員数も博物館応援のひとつの指標です。あなたのご支援がなくなると、友の会が弱くなります。24年もあなたと一緒に博物館を応援できますよう、お願いを申し上げます。

○今年の「江戸里神楽」公演は～

古事記編さん1300年記念講演会のあとに、同じ「さいたま芸術劇場」の小ホールで行なわれます。午後2時と5時半と2回の公演です。(同封チラシ参照)

友の会の会員さんには、5時半からの公演にぜひ、お願いしたいとのことです。これまで、里神楽というものをご覧になっていない方も、一度、のぞいてみられたらいいかもしれません。指定席で1000円です。

○今後の友の会と博物館の主なイベントスケジュール

☆2月17日(金) 友の会見学会「冬楽会」 日本酒造りの現場見学・忠七めしなど 申込み締切済

☆2月18日(土) ミュージウムフォーラム「道をめぐる物語」 午前10時半～15時25分

同封チラシ参照ください。事前申込みは不要です。学芸担当者の熱演を期待!

☆2月18日(土) ミュージウムトーク「春日部の桐細工」 担当 当館学芸主幹・川上由美子氏

午後1時半から30分 当日受付 先着順30人

☆3月10日(土) ミュージウムトーク「埼玉古墳群について」 担当 当館学芸主幹・田中正夫氏

午後1時半から30分 当日受付 先着順30人

☆3月17日(土) 友の会講演会「北武蔵の戦国時代」 講師 埼玉大学名誉教授・田代 楨氏

このニュース別ページをご覧ください

☆3月20日(火・祝)～5月6日(日) 博物館特別展「大名と薙」

ご期待ください！ 友の会・平成 24 年度の予定

12月、1月の理事・サポーター会議におきまして、平成24年度の友の会のイベント予定案を次のように決定いたしました。ぜひ、ご期待くださいますよう、お願い申し上げます。
(今後、変更することもございますが、その際はご了承をお願いいたします。)

- 4月30日(月・振) 講演会「関東における農耕社会の成立」(仮) 明治大学教授 石川日出志氏
＝縄文に続く弥生時代は、関東地方ではどのように始まったか＝
- 5月26日(土) 講演会「土器・陶磁器から見た日本の中世」(仮) 当館副館長 浅野精樹氏
＝考古学で中世を理解しようというお話です＝
- 6月 見学会「国立歴史民俗博物館と佐倉市の史跡をめぐる」
＝何度行っても興味津々の歴史民俗博物館と城下町・佐倉＝
- 7月 講演会「平家と武蔵」
- 8月3日(金) 講演会「古事記編さん1300年記念」 島根県神社庁 錦田剛志氏
＝出雲神楽と古代文明の点と線～神々の隠しまね 古事記1300年によせて～＝
- 8月5日(日) 見学会「脚折雨乞行事」
＝鶴ヶ島市に江戸時代から伝わる4年に1度の降雨祈願の行事＝
- 8月 見学会「出土品展と東松山市の史跡をめぐる」
＝さきたま史跡の博物館での23年度県内出土品展などを見学＝
- 9月 講演会「朝鮮通信使と武蔵」または「埼玉の渡来人」
- 10月 見学会「入間・飯能の周辺」
- 11月 講演会「古代の年代をはかる」
- 12月 見学会「東京の古墳を二日で見ると」
- 1月 講演会「古代の人口をはかる」
- 2月 見学会「桐生、両毛地域をめぐる」
- 2月 見学会「発掘現場を見る」
＝毎年恒例の発掘現場を見学する、当会ならではの行事です＝
- 3月 見学会「茨城県・茨城歴史館」
＝関東の県立博物館をめぐるってきました＝

「古事記」編さん1300年記念講演会の共催を決定

平成24年は、「古事記編さん1300年」の記念の年。友の会は島根県東京事務所と江戸里神楽実行委員会との共催で記念講演会を行なうこととなりました。

武蔵国各地には氷川神社や諏訪神社などの出雲系神社が多く存在するなど、古代から出雲文化との深い関係が考えられ、この機会に武蔵と出雲の歴史的交流関係をも検証しようとするものでもあります。ぜひ、お覚えのうえ、ご参加ください。

日時・平成24年8月3日(金) 午前10時～11時45分

会場・さいたま芸術劇場映像ホール(与野本町駅下車10分)

資料代500円 申込みは5月から受付(詳細は後日発表)

講師・演題については、上記イベント予定をご参照ください

北武蔵の戦国時代

戦国時代において、武蔵の国はどうだったのか？

北条早雲、北条氏綱、武田信玄、上杉謙信、上杉景勝、豊臣秀吉、前田利家、
そういう名前も出てきます。そして、地元の成田長泰、太田資正などの名前
もあります。彼等は、どこで、どのように戦ったのか？

後世、縁あって、この地に住むこととなった私たちも、この地における戦国
時代については、知っておきたいことのひとつではありませんか。

講師 埼玉大学名誉教授 田代 脩 先生

とき 平成24年3月17日(土) 午後1時半～

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

<東武野田線・大宮公園駅下車・5分>

ご参加 無料

ご参加のお申込みは、往復ハガキにご住所、お名前、お電話番号、イベント名、会員の
場合は会員番号を明記し、(裏面にご住所、お名前をご記入ください) 3月10日(土)ま
でに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ
～ 定員150名。越えました場合は先着順とし、その時点で締め切らせていただきます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成24年度の新会員募集中です。この機会に、ぜひ、ご入会をお考えください。

平成24年3月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

全員「素人」という「恐ろしい」メンバーの「恐ろしい」DVD製作顛末記

友の会・副会長 中村 均 ・理事 筑井信明

一昨年10月にこのプロジェクトが立ち上がって以来、岩槻の歴史と文化について数々の勉強会を重ね、内容についても検討会が幾度も開かれた。ところが一筋縄ではないのが歴史というもので、メンバーそれぞれの認識が深まる程切り口にもこだわりが生まれ、全くまとまりがつかなくなってしまった。昨3月に予定していた映像ワークショップが震災の影響で5月にずれこみ、カメラ操作の十分なトレーニングが出来なかったことも後々の苦勞のもととなった。とにかく撮影してみないことには先へ進めないということで撮影隊を2チーム結成、東武野田線を境に南北に分けてそれぞれ撮影ポイントを見つけ撮っていくことに決まったのが昨6月中旬。容易にまとまらないシナリオは後回しとなった。こうして実際にカメラを担いで街に出た頃は、梅雨が明け猛暑の季節にはいっていた。撮影に入り、生の映像を再現してみてもまず驚いたのは「音」車の走行音など人工自然両方の音の賑やかさは想像を超える。撮影スタッフも音が入ることを全く意識しないので、遠慮のない会話が丸ごと収録されていた。「時の鐘」収録ではカラスとの戦い、二度目でようやくものになった。

北チームは距離が長いので車で周り、南チームは暑い中徒歩での撮影となる。この時の映像は最終的には殆ど使えなかった。とにかく映像に落ち着きがない。被写体が動くから動画なので、カメラだけが動きまわる逆動画ばかりになっていた。それでもパソコンに取り込んでつないでいくとおぼろげながらもストーリーが見えてきた。

撮影の前、勝手に撮り歩いて地元の方にクレームをつけられるのではないかなど余計な心配もしていたが、逆に冷たいお茶を振舞われたり、神社の境内ではわざわざお堂を開けて由緒ある絵馬を見せてもらったり、また移動して行方の分からなくなった庚申塔の場所を案内してもらったりと各地で一方ならぬお世話になった。これらの場面も一部はカメラに取込んでいたが公開できる映像には至らなかったのが残念である。ある神社の境内で三脚を構えてとっている最中に小学生の団が通りかかり、撮影を中断したことがあった。この時テープを止め忘れた為、子供たちの巧まぬ映像が取り込まれ、使わせていただけたのは幸運だった。

シナリオの方は国立公文書館公開の日光道中絵図をダウンロードして、ストーリーに取込めるよう辛抱強い作業の結果画像化に成功、これを柱に組み立てることに決まり、ようやく具体的なイメージが固まった。ここからは最初の映像を参考にシナリオに沿って撮り直し、追加撮影に入ったがこの時期が最悪の季節、熱中症寸前になったり、ゲリラ豪雨でずぶ濡れになったりと大変な思いをした。あまりの暑さに歩くのが嫌になり加倉から鹿室まで街道風景を何往復もして車窓から撮ったりもしてみたがこれも結局はボツ。岩槻城跡の良い映像がなかなか撮れず、郷土資料館のジオラマを応用しようと許可を取って撮影に行ったが分厚いガラスのカバーが邪魔で思うように撮れない。思い余ってカバーを持ち上げて撮ろうとしたがこれはガラスに若干のひびが入っていた為不許可となりかえってよかったと思う。実際持ち上げて割ったりしたらどうなったかと思うと冷や汗がでる。

こうして撮ったテープが60分もので20本程、実際に使われたのは14分ほどである。最後の方は妥協、妥協の連続で完成したのは岩槻ワッツ公開日の前日だった。もし締切日が無かったら作業はいまだに続いていたような気がする。我が人生も締切日を作れば何事かを遺せるのではないかと思ったりしたが、これを成遂げたのは西行法師ぐらいとのことで凡夫の成せる業ではないようだ。

友の会トピックス

○今月 20 日から始まる特別展「大名と藩」に期待！

博物館の特別展は一年に 2 回開催されます。一度目は大変な好評であった「円空展」でした。23 年度の最後を飾る特別展が、これです。内容は別紙チラシのとおり。ぜひ、会員一致して、この展覧会を支持し、20 日(火・祝)以降、駆けつけようではありませんか！

川越、行田(忍)、岩槻在住の方は「老中の城」として郷土が取り上げられています。また、岡部(深谷)久喜の方も、あまり知られていない岡部落、久喜藩のことが取り上げられています。必見の展覧会として、地元の方々にお呼びかけのうえ、多数、ご観覧くださいよう、お願いいたします。

○今後の博物館、友の会の主なイベントスケジュール

- ・3月17日(土) 友の会講演会「北武蔵の戦国時代」 至急、往復ハガキでお申込みください。
- ・3月18日(日) 博物館歴史民俗講座「弥生時代のすまいとくらし」～復元住居完成関連～
講師 当館・利根川章彦学芸主幹 至急電話申込み要 048-645-8171
- ・3月24日(土) 博物館春まつり「ペーゴマ大会」 13:00～15:00 当日受付
- ・3月25日(日) 博物館春まつり「ボン菓子実演」 10:00～12:00 13:00～15:00 当日受付
- ・4月30日(月・祝) 友の会講演会「関東における農耕社会の成立」 明治大学・石川日出志先生
情報の一般公開の前に、往復ハガキでお申込みください。満員必至です。
- ・5月26日(土) 友の会講演会「土器・陶磁器から見た日本の中世」 当館・浅野磯樹副館長
「中世」を考古学の観点から考えるお話をさせていただきます。お申込みは詳細発表後に。
- ・6月(日時未定) 友の会見学会「国立歴史民俗博物館と佐倉市の史跡をめぐる」

○友の会・会員ご継続ありがとうございます

現在、ご更新お手続き受付中です。新しい会員証は、このニュースの発送の際に、同封させていただいています。ご送金の時期によりましては、一ヶ月遅れとなりますこともございます。申し訳ございませんが、お許しのほど、お願い申し上げます。郵便局の受取書をご保存ください。

○あいかわらず、友の会サポーター募集中です

皆さまのボランティア精神で支えていただいております。この友の会。お手伝いいただける方、土日祝に博物館で受付をしています当番にお声をおかけください。何をさせていただくかなど、ご説明いたします。

関東における 農耕社会の成立

縄文時代から弥生時代へ。そして、弥生時代の成長。それから、「クニ」――
私たちが、いま、暮らしている、この関東はそのころ、どうだったのでしょうか？
そのころに生きていたヒトがいて、あなたがいるのですから…あなた自身の「成
立」のためにも、聞いておきたい、知っておきたいテーマです。

講師 明治大学教授 石川日出志先生

日時 平成24年4月30日（月・祝）
午後1時30分～3時

場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館

講堂 <東武野田線・大宮公園駅下車・5分>

ご 参 加 無 料

ご参加のお申込みは、往復ハガキにご住所・お名前・お電話番号・イベン
ト名・会員の場合は会員番号を明記し、（裏面にご住所・お名前をご記入ください）
4月24日（火）までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-
219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。定員150名。オーバーの
場合は先着順とし、その時点で締め切らせていただきます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

3月に当館敷地入口に弥生時代復元住居修復が完成。弥生時代がさらに具体的にお楽しみいただけます